

## 事業所における自己評価総括表

公表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」尾張旭校			
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日 ~ 2025年 12月 20日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	47名	(回答者数)	35名
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日 ~ 2025年 12月 20日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 5日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	指導員の専門性を活かした支援を行っている。 利用者一人一人の特性を考え、何を補い何をしたら良いかを常に考え、一人一人に合った支援をしている。	毎朝にミーティング実施時に可能な限り職員が参加し、常に『利用者優位』『この子に何が必要か、何をしてあげたら良いかを考えよう』と繰り返しえている。	特性を熟知して上で、更なる成長に繋げるための支援内容などを職員全員で考えていく。
2	日頃から保護者からの相談事等に助言を行っている。	フィードバック時や支援の待ち時間に最近の様子を聞くなどして、保護者の負担感や学校・家庭での様子の聞き取りを行っている。	全員の保護者には行き届いていないため、指導員と児発管で連携しながら声掛けを行っていく。
3	利用者が楽しく支援を受けられるように、指導員との関係性の構築に力を入れている。	全職員が利用者がきらりに行きたいと思って貰えるように心がけて支援を行っている。また、楽しいかつ成長ができるような支援を常に考え、実践している。	特性を熟知して上で、更なる成長に繋げるための支援内容などを職員全員で考え、より良い支援を心がけていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われる	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流が少ないため、今後交流ができるようにしていくたい。	支援の準備や情報共有に時間を取られてしまうことが多く、地域での交流についての話し合いができていない。	より効率的に業務を行っていくと同時に、地域で行われているイベントの情報収集を行っていく。
2	事業所が2階にあり、階段には屋根がないため雨天の際は注意が必要になる。	事業所が2階にあるため、事業所内のバリアフリー化は行えても事業所外（2階への階段）のバリアフリー化が難しい。	利用者の行き帰りの際には外の階段にも目を配り、怪我のないよう留意していく。
3	防災・感染などに関して、職員にのみの活動になっている。保護者や利用者を巻き込んで周知に努める。	事業所内に避難経路や避難場所、感染についての周知事項などを掲示しているが、周知には至っていない。	利用者・保護者も参加できるような防災・感染の訓練を検討していく。また、避難経路や防災・感染に関するマニュアルや掲示について周知できるよう随時お伝えをしていく。

## 公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	こどもサポート教室「きらり」尾張旭校
------	--------------------

公表日 2026年 2月 14日

利用児童数 47 回収数 35

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	29	4		2		支援室によっては活動場所が狭い場合があるので、より広く使えるよう検討していきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	32	1		2		
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	28	4	1	2	・足が悪いので2Fは少し困難 ・外の階段以外は配慮され、安心して利用できています。	ご意見ありがとうございます。外の階段について来所時に怪我がないよう、職員一同留意していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	35					
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	30	5			・子どものその日の体調に合わせて支援して下さっています。	ご意見ありがとうございます。 引き続き一人一人に合わせた支援を行っていきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	29	2		4		
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	30	3		2	・子供の発達をしっかりとみていただき支援してくださっているのを感じます。	ご意見ありがとうございます。 引き続き一人一人に合わせた計画の作成・支援を行っていきます。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているだと思いますか。	29	5		1		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	32	3				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	30	5			・子どもが飽きる前に新しい課題を準備して下さり、やる気アップにつながっています。	ご意見ありがとうございます。固定化されないよう、職員間で活動内容を共有しながら、支援を行っていきます。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	3	1	22	9		今後、ニーズがあった場合には検討し、実施をしていきます。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	32	3				
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	31	4				家族支援に関しての研修のお知らせを張り出しているが、周知には至っていないため、声掛けを行っていきます。
保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	3	9	11	・学校のこともありますので常に気にかけて下さり、親としても安心です。ありがとうございます。	ご意見ありがとうございます。今後も共通理解が深まるよう支援を行っていきます。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	32	3				フィードバック時に指導員と保護者で話す時間を設けているが、時間が限られている為、改善していきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	23	6	3	3	・空き状況の連絡をいただいたりするごとに感謝しております。	ご意見ありがとうございます。 今後もニーズに合わせて空き情報を連絡させていただきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	31	4				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	2	17	13		今後ニーズがあれば保護者会等の開催を検討していきます。

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	23	6	1	5		全員に周知できるようお伝えしていきます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	31	3		1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	15	5	2	13		発信されていることが全員に周知ができるよう、お伝えをしていきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	32	2		1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	30	4		1		マニュアル等の周知を行っていきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12	7	2	14		定期的に訓練を行っていますが、職員のみのことが多いため、利用者様が参加する訓練も検討していきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	23	2	3	7		安全計画の周知を再度行い、安全に支援が行えるよう努めます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	21	2	1	11		事故・怪我の対応は速やかに保護者に連絡をし、連携して行っています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	31			4		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	24	10	1		・体調によって渋る日もありますが、出発時間になると自ら動きだしています。	ご意見ありがとうございます。意欲的に来所することができるよう、支援内容を再検討させていただきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	29	6			・必ず子どもを褒めて下さり、子どもに合った支援を考えてくださいます。いつもありがとうございます。	ご意見ありがとうございます。今後も一人一人に合わせた支援を行っていきます。

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」尾張旭校				公表日	2026年 2月 14日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		1人1部屋利用できるよう調整している。	特に問題なし。	
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		<input type="radio"/>	職員数によって利用定員を調整している。	曜日によって不足しているため、もう一人職員がいるとよい。	
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		<input type="radio"/>	施設内は構造化されている。	2階にあるため十分なバリアフリー化はできていない。教室内は構造化されている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		毎日清掃・消毒を行っている。	引き続き清潔な空間になるよう、毎日の清掃を行っていく。	
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		ほとんどの支援を個別で行っている。 子どもの様子をみながら部屋割りを決めていく。	特に問題なし。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		全職員が半年に1回目標設定・振り返りを行っている。	特に問題なし。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		全職員に共有して話し合いの場を設けて改善につなげている。	特に問題なし。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		日頃のコミュニケーションや面談の中で意見を聞き、改善に努めている。	特に問題なし。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		評価表を集計後、職員に共有し意見について反省と改善を話し合い、事業所内に掲示している。	特に問題なし。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		各研修に可能な限り参加し、支援の質の向上とコンプライアンスの周知に努めている。	特に問題なし。	
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		支援終了後のフィードバック時に保護者に指導員より説明している。	特に問題なし。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		6ヶ月に1回のモニタリングを行い、保護者の要望、利用者への支援内容を計画書に反映させている。	特に問題なし。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		児発管は6ヶ月に1回のモニタリングを行い、保護者の要望、支援内容を職員間で検討しており、計画書に反映させている。	特に問題なし。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		職員は何時でも個別支援計画書を確認できる環境にあり、計画に沿った支援を行っている。	特に問題なし。	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		適宜確認している。	特に問題なし。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		利用者の特性に沿った支援内容、家族支援に基づく保護者や関係機関との連携を図り、必要な項目を計画書に載せている。	特に問題なし。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		必要に応じてミーティング実施時に検討している。	特に問題なし。	

援 の 提 供	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		ミーティング実施時に検討している。	特に問題なし。
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>		小集団はイベント時に行っている（通常は個別支援）。	特に問題なし。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。		<input type="radio"/>	ミーティング実施時に検討している。 指導員の変更等、適宜臨機応変に行っている。	特に問題なし。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>		支援の様子などの聞き取りを行っている。	特に問題なし。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	<input type="radio"/>		必ず記録を取り、よりよい支援への改善へつなげている。	特に問題なし。
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	<input type="radio"/>		適切に行われている。	特に問題なし。
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	<input type="radio"/>		1人1人に合わせ、組み合わせながら支援を行っている。	特に問題なし。
	25 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	<input type="radio"/>		支援の最後に「すきなこと」をする時間を設けるなどして、自分で決めてもらう時間を作っている。	特に問題なし。
	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	<input type="radio"/>		担当者と児発管が参画できるよう調整をしている。	特に問題なし。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	<input type="radio"/>		必要に応じて連携をしている。	特に問題なし。
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。		<input type="radio"/>	必要に応じて行っている。	保護者が送迎を行うためほとんど情報共有する場がない。今後も必要に応じてしていく。
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		<input type="radio"/>	就学前の園での様子を保護者の方から聞き取っている。	今後就学前に利用していた園との連携を行い、情報共有と相互理解を深めていくよう努めていく。
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		<input type="radio"/>	支援内容等の情報を整理してまとめている。	障害福祉サービス事業への移行をすることがほとんどないが、今後移行する場合は情報提供を行っていく。
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	<input type="radio"/>		発達支援センターと定期的に連携を図っている。	県や他研修に参加できるように調整できるよう検討していく。
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		<input type="radio"/>	地域の施設やイベントの情報収集を定期的に行っている。	一部の利用者の交流に留まっているため、幅広く交流ができるように改善していく。
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		<input type="radio"/>	開催された場合は参加している。	積極的な参加ができるよう意識の改善や日程調整を行っていく。
	34 曰頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	<input type="radio"/>		随時、保護者と相談、話しができる環境を整え、指導員はフィードバック時に説明して理解を得ている。	特に問題なし。
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレンツ・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		<input type="radio"/>	対象研修のポスターを掲示している。	研修自体の開催は現在行っていない。今後、対象研修を保護者に紹介できるように検討していく。
	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	<input type="radio"/>		契約時に行っている。	特に問題なし。
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	<input type="radio"/>		利用者の意見や様子を指導員より随時確認し、モニタリング時に保護者の要望や意見を確認。計画書に反映させている。	特に問題なし。
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	<input type="radio"/>		個別支援計画書に確認、同意のサインを頂いている。	特に問題なし。

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	<input type="radio"/>		随時、相談の場を設けている。	特に問題なし。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		<input type="radio"/>	フィードバック時にきょうだい児の様子を聞き取っている。また、きょうだい児と職員とで交流する時間を作っている。	現在は行っていない。今後、ニーズがあれば検討していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	<input type="radio"/>		適切に対応できている。	特に問題なし。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	<input type="radio"/>		定期的に発信をしている。	特に問題なし。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>		必ず鍵付き書庫に保管をしている。	特に問題なし。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	<input type="radio"/>		個々の特性に合わせて配慮している。	特に問題なし。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		<input type="radio"/>	地域の情報を収集している。	地域の方を招待する機会を設けていないため、地域のシステムなどを理解できるようにしていく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	<input type="radio"/>		マニュアルは各項目整備させており毎月、テーマに沿った訓練を実施、周知。議事録に残している。	特に問題なし。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	<input type="radio"/>		BCPを作成し、テーマに沿った訓練を毎月行っている。	特に問題なし。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	<input type="radio"/>		対象利用者もあり、確認、周知できている。	特に問題なし。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		<input type="radio"/>	食べ物を扱うことがほとんどないが、契約時に確認をしている。	特に問題なし。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	<input type="radio"/>		適切に行われている。	特に問題なし。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	<input type="radio"/>		契約時に避難場所などの周知を行っている。	特に問題なし。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	<input type="radio"/>		必用事案があった場合に書類を作成し、職員全員に周知している。	特に問題なし。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	<input type="radio"/>		本部より定期的に研修が行われ、適切に対応している。	特に問題なし。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	<input type="radio"/>		本部より定期的に研修が行われており、契約時に説明を行ったうえで対象利用者には個別に説明を行っている。	特に問題なし。